

慶応義塾大学経済学部吉野直行教授も、「地域の活性化のための、「地域・投資信託手法」を推進するという政策を押し進めることが必要」という考え方に賛同されています。

---

「日本の経済成長を持続し、われわれの所得が上昇し続けるためには、地域経済の活性化が不可欠です。地方交付税という中央からの補助に頼らずに、地域の経済発展を成し遂げるためには、各地域で集めた民間資金の活用が必要です。地域の新しい事業を起こそうとされている方・農業の新たな戦略を実行に移されようとしている方・地域の企業の構造転換を考えられている会社の方々・・・に、地元の金融機関の”目利き”を活用し、貸倒れにならない資金提供相手を選別し、地域で集められたファンドや地域の投資信託を組成して、地元資金を提供しようとする方法です。

日本では、これまでの地域金融は、預貯金を集めて、貸出を行うという方法でした。地域ファンドや地域・投資信託という方法で集められて資金を、地域企業や地域の農家に提供することにより、各地域に活力を与えるという方法は、これまでありませんでした。

新たな金融手法により、地域経済を活性化させる地域ファンド・地域投資信託の提案は、地方へのリスクマネー提供の一つのやり方であると考えます。各地域で、将来の日本を担う素晴らしい企業・生産力の高い農業が、目利きと地域・新金融手法により生まれることを期待します。」

吉野直行・慶応義塾大学経済学部教授

---